



顔認識監視カメラ

作成者: 吉原一敏

目的

- カメラの前に立った人が人かどうかを確認できるようにする。
- インターホンの前などに置くことで素早く人の接近を検知することができればセキュリティの強化にもつながる。

動体検知

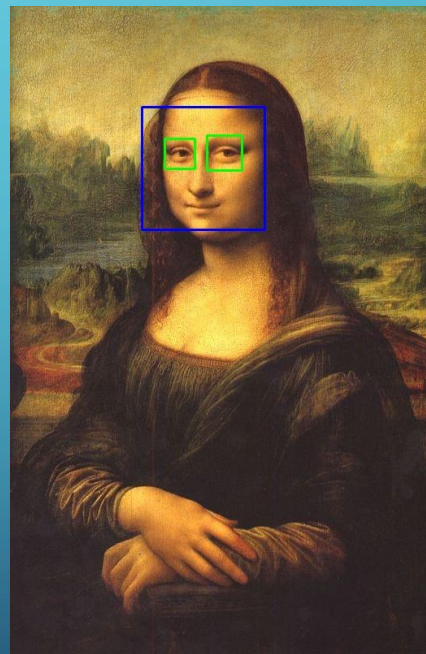
- RaspBerry PIにインストールできるシステムの中に動体検知というものがある。
- これはカメラが動きを検知した場合、画像を保存したりプログラムを走らせることができる

顔認識

- カスケードファイルを使用することで、画像の中から人の顔や目の位置を探ることができる。
- これと動体検知を組み合わせることで、動体を検知したものが人の顔であるかどうかを検知できる。

実例

- 人の顔であれば起動するため、このように目と顔に枠を保存する。



LINEに転送

- ラズベリーパイは、LINEのアクセストークンを取得すれば自動的にラインに画像を送ることが可能。
- よりセキュリティ面において強化される。

問題点

- 現在、動体検知は一秒間に2回検知を行い、その都度顔認識のスクリーンを行うため、動作が非常に重い。
- LINEに送る際のリミッターを設定していないため、一度カメラの前に人を検知した場合、多くの通知がLINEに流れてしまう。

改善策

- 送る直前にリミッターのようなファイルを作成
- そのファイルが存在する間はプログラムを途中終了させる